



News Release

PGM MARKET REPORT NOVEMBER 2015

2015年のプラチナ需要は、一次供給と二次供給を合わせた総供給量を20.4トン上回ると予想される。堅調な自動車、産業、投資需要による需要増は、中国の宝飾需要の需要減よりも大きくなるであろう。2016年もプラチナ市場は供給不足が続く見込みである。

価格の下落と弱気なセンチメントが2015年のプラチナ市場に影を落としているものの、基本的な需要動向はポジティブである。堅調な自動車、産業、投資部門による需要増は、中国の宝飾業者による購入減少分を上回り、総需要は前年比3.2トン増の258.2トンになるであろう。南アフリカからの供給は回復するものの、増加分の一部は自動車触媒からリサイクルされるプラチナが減少する事により相殺されるため、需給バランスは20.4トンの供給不足となろう。

南アフリカからの供給量は20%以上増加し、ここ四年で最も多い133.6トンになるであろう。電力不足による操業の中断や、保安上の理由による操業停止、社会不安、労働争議などが予想されたものの、これらが生産に及ぼす影響は、ここ数年に比べれば弱いものであった。

しかしながら、生産者を取り巻くビジネス環境は非常に厳しいままである。2015年1月から8月の間で、プラチナ価格は南アフリカのランド建てで8%下落した（一方、米ドル建てでの下落幅は20%以上に及んだ）。その結果、一連の鉱山の売却や合理化、投資支出の削減が進んだ。

自動車触媒リサイクルの分野では、回収、分解、精製される排気ガス浄化触媒の量が2015年は大きく減少した。鉄や白金族の価格が低迷したことにより、車の所有者が古い車をリサイクルする動機が薄れ、また廃触媒のコレクターが集めた触媒をリサイクルに回さず溜め込む動きも見受けられた。プラチナ価格の下落は宝飾品のリサイクルにもマイナスの影響をもたらしており、2015年の二次供給量の合計は前年比13%減の56.2トンになるであろう。

今年の自動車触媒向け需要は6%増の107.9トンになるであろう。2015年9月以降、Euro 6b排ガス規制がヨーロッパで新たに販売・登録されるすべての乗用車に適用されるようになった。その結果、プラチナの総担持量は増える見込みである。この増加分はさらに、ヨーロッパのディーゼル車生産が適度に伸びる事より、増幅されるだろう。

対照的に、宝飾需要は9%減の82.3トンになると予想される。中国では新規出店のペースが鈍る一方、閉店する店の割合は増えることから販売店が新たに購入する必要のある店頭在庫の量が減少しており、宝飾向け需要は大きく減少するであろう。中国では宝飾品の購入者は、購入した宝飾品の価値が時が経つにつれて上昇することを望んでいるが、プラチナ価格の低迷が長引いているため、中国の消費者にとってはプラチナの魅力が薄れてきている。

しかしながらインドでは結婚祝いにプラチナの宝飾品を買おうというキャンペーンが功を奏し、2015年の宝飾向けプラチナ需要は前年から3分の1近く上昇する見込みである。このキャンペーンの目的は、伝統的なブライダル宝飾市場における金との直接の競合を避け、ブライダル部門におけるプラチナ宝飾品の新しい領域を作り出す事である。

日本における購入が堅調であることから、2015年の投資需要は前年から3分の1増加の11.5トンになると予想される。7月以降、円建てでのプラチナ価格が下落した事から、プラチナの投資用地金の需要が急激に増加した。一方、世界的に見れば2015年の上場投資信託（ETF）への投資は中立になるものと思われる。

一次供給量は回復するものの、今年のプラチナ市場は相当な供給不足のままである。投資需要の動向は需給バランスを決める上で重要な要素になるものの、過去二年間においては投資需要がゼロであったとしても供給不足であったことは、特筆すべき事である。



投資需要が大きく振れるため、パラジウムの総需要は減少すると見込まれる。

パラジウム市場は 13.3 トンの供給不足のままであろう。

投資需要が昨年の買い越しから今年は売り越しに転じることにより、2015 年のパラジウム需要は大きく減少するであろう。自動車触媒向けや産業用のパラジウム需要は幾分伸びるものの、投資需要の減少分には遠く及ばない。供給側では、南アフリカからの供給は回復するものの、廃自動車触媒からリサイクルされるパラジウムの量は減少する事から、一次供給と二次供給を合わせた総供給量の伸びは 1%にとどまるであろう。需給ギャップは縮小するものの、パラジウム市場は 13.3 トンの供給不足が続くであろう。

一次供給量は 6%増の 200.6 トンになるであろう。南アフリカの鉱山会社からのパラジウム販売量は大きく回復し、過去四年で最も多くなる見込みである。しかしながらロシアからの供給量はわずかに減少し、また国家備蓄からの売却も無いものと予想される。

米国やヨーロッパでは廃車台数が減少し、また回収業者が在庫を積み上げている事から、廃自動車触媒からリサイクルされるパラジウムの量は前年比 10%減少すると思われる。中国の消費者による古い宝飾品のリサイクルは枯渇する事から、宝飾品からのリサイクル量も減少するであろう。全体的に見れば、パラジウムの二次供給量は 9%減の 78.3 トンになるであろう。

総需要は 40 トン近く減少し、292.2 トンになるであろう。昨年からの変動幅が大きくなっているのは、上場投資信託 (ETF) の動向の変化によるものである。1 月から 10 月後半にかけて、米国、ヨーロッパ、南アフリカの ETF 投資家は 13 トン以上を売り越した。特に 9 月から 10 月にかけては売りが集中した。投資家がパラジウム ETF から資金を引き揚げた大きな要因は、中国経済の減速や自動車生産の伸びの鈍化により、中国におけるパラジウム需要が弱含むと予想されたからである。

パラジウムの需給バランスは投資需要によって左右されるものの、自動車部門は引き続きパラジウム消費の大きな部分を占めるだろう。2015 年の自動車メーカー向けの販売量は 233.1 トンになり、過去最高を記録すると予想される。しかしながら、中国の小型車市場の減速や、一部のディーゼル触媒でパラジウムからプラチナに戻る動きがあることから、自動車触媒向けパラジウム需要の伸びは鈍化するであろう。

産業用のパラジウム需要は、化学業界向けのパラジウム触媒需要は力強い一方、電子材や歯科材向け需要は減少するため、わずかな伸びにとどまるであろう。しかしながら、中国におけるパラジウム・ジュエリー市場の崩壊を受け、宝飾品向けのパラジウム需要は 12%減少すると予想される。

宝飾品向け需要は弱く、また投資部門では換金売りが見受けられるものの、パラジウム市場は依然として供給不足が続く見込みである。今年、自動車、産業用、宝飾といった‘消費アプリケーション’で使用されるパラジウムは、一次と二次を合わせた総供給量を 25 トン以上上回る見込みである。しかしながら、投資需要が売り越しになるために、供給不足幅は減少し、13.3 トンになるであろう。

November 2015 PGM Market Report の全文は 2015 年 11 月 18 日英国時間 14 時より

www.platinum.matthey.com からダウンロード可能である。

より詳細な情報をご希望の方は Denise Garwood +44 (0)1763 256315 までお問い合わせください。

PGM Market Report は白金族市場に関するジョンソン・マッセイの無料調査報告書である。

ジョンソン・マッセイは白金族の生産、供給、使用に関する世界的な権威である。

Follow us



<https://twitter.com/PMMJM>



<http://www.linkedin.com/in/PMMJM>

Please use our Twitter hashtag: #PGMMRNov2015